

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第149号

令和4年1月1日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa

「日立港の日の出」



慶春

本年もよろしくお祝い致します
令和4年元旦

金沢学区コミュニティ推進会

新しい年を迎えて

「自分の地域は自分の創意と努力でつくりあげる」を目指して！
金沢学区コミュニティ推進会会長 泉 聡二



新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、金沢学区コミュニティ推進会の皆さまのご繁栄を心からお慶び申し上げます。又、あわせて日頃のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

金沢学区コミュニティ推進会では、「自分の地域は自分の創意と努力でつくりあげる」という基本理念を住民の皆さまと共有できるよう、広報紙「かねさわ」など様々な媒体をとおして情報発信していきたいと考えております。

また、社会情勢を取り巻く環境が大きく変化している中で、利便性の高い公共交通ネットワーク体系の構築、一人暮らし高齢者の見守り、いつ起こるか分からない災害への対応など、地域における課題は年々重度化・複雑化しており、金沢学区においても例外ではありません。

これらの地域課題の解決に向け、行政と連携しながら、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

今年も、皆様とご家族、ご隆昌とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

ジャンボ門松でお迎えします

12月13日(月)、金沢学区にお住まいの皆さまの健康と、地域発展を祈願します。その年の歳神様をお迎えする目印となるジャンボ門松を金沢交流センターの正面玄関に飾りました。



みごとに完成したジャンボ門松

令和4年「寅」

令和4年は五黄の「寅」年です。虎は、毛皮の模様から前身は夜空に輝く星と考えられていた存在です。



また、「決断力と才知」の象徴としての意味もあり、縁起物として、親しまれてきました。

教養を高め、的確な決断ができる年にしていきたいものです。

金沢学区 地域モビリティ実証事業

11月1日(月)から12月24日(金)まで金沢学区地域モビリティ実証事業を行いました。第二次実証事業は令和4年1月4日(火)から2月28日(月)まで実施予定です。

11月1日(月)からスタートした金沢学区地域モビリティは、「高齢での自家用車運転が目立ち、免許返納が遅れている傾向にあり、交通事故などの防止を図る」「交流センターや買い物拠点へ近距離でも手軽に利用できる乗合の移動手段として利用」「環境に配慮した電気自動車による運行」を目的としています。

金沢学区は日立市内で2番目に高齢化率が高く、免許返納者や移動の不自由な高齢者が令和3年4月現在で430名になっています。令和8年には800名に増加することが予想され、令和13年には1400名程度に増加することが考えられます。将来の交通手段を今から準備していくことが重要です。

10月21日(木)と23日(土)に各支部の事前説明会を行い、今後の地域移動の手段としての取り組みを説明しました。説明会の中では、事業性の問題や道路の交通量の問題など各種ご意見をいただき、運行計画に反映しております。実証事業として学区内から会員を募集し、11月30日(火)までの1カ月間で、56名の会員の申し込みがありました。第一次実証事業は、12月24日(金)で終了しましたが、引き続き令和4年1月4日(火)から2月28日(月)まで第二次の実証事業として運行してまいります。



R3.11.13 金沢団地公園での説明



R3.11.1 地域モビリティ出発式

会員数	56名 (R3年11月30日現在)		
利用者数	200名 (11/1~11/30)		
利用目的	交流センター利用	52%	
	買い物	16%	
	通院	8%	
	その他	24%	

利用した住民の皆さまの声としては、「思ったよりも乗り心地が良いです。速度は遅いと思っていましたが、交流センターから金沢団地まであっと言う間に着いてしまいました。健康のため、交流センター行きは歩いて、帰りは地域モビリティを乗ることにしたいと思います」「いつも徒歩で買い物に行くのですが、今日はモビリティでの買い物なので、思い切って普段は買えない油、醤油、牛乳などの重いものをまとめて買うことができました」等の声があり、地域の移動手段として根付かせるようになることができるように住民の皆さんの声を反映していきたいと思っております。

利用先は交流センター利用の皆さまが50%程度で最も多く、買い物、通院等の利用が少ない状況ですが、需要はあると考えられますので今後、目的別に運行を計画していきます。第二次では需要の多い曜日と地域については、時刻表による定期運行も計画しております。

将来的には、日立市の山側団地の移動に支障がないようにラストワンマイル移動の解決手段として地域に根差していくことを目指しております。



根道ヶ丘団地を登る地域モビリティ

金沢小3年生とのふれあい交流会 「昔の話」と「昔の遊び」を楽しむ

新型コロナウイルスの蔓延が小康状態の11月19日(金)に金沢小学校体育館において金沢小学校3年生とのふれあい交流会が実施されました。金沢コミュニティ推進会側は、地域福祉局のボランティアふれあい活動部の役員と協力員が出席しました。3年生は昨年度「まちたんけん」で金沢交流センターを訪れており、2回目の交流となりました。

当日は3年生のお茶当番の児童に出迎えられ、しばし休憩の後、受付の児童に丁寧に先導され、体育館で開会式が行われました。高島校長先生のお話と児童代表の歓迎の言葉をいただいてから、8グループに分かれて、昔の話と昔の遊びを行いました。

昔の遊びでは、羽根つき、輪投げ、こま回し、ベーゴマ、メンコなどをコミュニティ推進会ボランティアふれあい活動部の人から手ほどきを受けながら興味をもって遊びました。普

段遊びなれていない児童がこまを回すことまで覚えたりして、楽しい時間を過ごすことができました。閉会式では3年生の児童から記念品をいただきました。

(ボランティアふれあい活動部)



羽根つきは、ちょっとむずかしい



ご指導いただき、ありがとうございました

金沢小2年生が「まちたんけん」 金沢交流センターを訪問

11月4日(木)、清々しい秋晴れのもと、金沢小学校2年生34名が、生活科「まちたんけん」の学習のため、交流センターに来所しました。交流センターの施設見学と地域モビリティの乗車を体験しました。

みんな真剣な眼差しで、熱心にメモをとりながら職員の説明を聞いていました。見学の移動時は、リーダーの指示に従い、整然と移動できました。学習のまとめでは、「交流センターの役割」・「歴史」・「働いている人の人数と業務の内容」・「センターの備品」・「業務上の苦勞」など積極的に質問しました。きっと、

自分なりに地域への関心が高まったことでしょう。



学習を終えてハイ・ポーズ



地域モビリティの乗車体験



説明をしっかりと聞けました

専門部の協力部員（ボランティア）を募集しています

第39回 住民文化祭 力作ぞろいの作品を鑑賞し、催事コーナーで買い物

コロナ禍の中、地域の多くの方のご支援とご協力のもと、第39回住民文化祭を、金沢交流センター全館を活用し、開催することができました。住民相互の絆と親睦を深めることができた2日間、多くの来場者でにぎわいました。当初、計画立案段階における実行委員会が、コロナ禍の影響で、中止や延期となることもありましたが、幸いにもコロナ感染者も減少傾向に向う中、最大限のコロナ対策を施し、11月13日(土)・14日(日)の両日で、664名の来場をいただきました。昨年実施されなかったため、1年ぶりに出展される皆さまとご来場の皆さまが再会を喜び合い、出展作品の前で談笑されているお姿が印象的でした。「住民文化祭」は、『住民相互の親睦を図り、明るく住みやすい地域づくりを目指さす』という趣旨に沿ったイベントとなりました。

今回、食べ物コーナー・子供たちの遊びコーナー・バザーコーナーは実施せず、野菜の販売のみの「催事行事」を実施しました。この度の住民文化祭への参加出展者は、個人・一般団体・教育団体・施設団体からで、グループ数は12、個人は288名、総作品出展数は346点でした。地域の多くの皆様そして諸団体の作品出展に盛大に開催できましたことに御礼を申し上げます。



多目的ホール展示コーナー



多目的ホールでは、個人・各団体の皆様から、絵画・絵手紙・色鉛筆画・写真・手芸・彫刻・工芸など1年間のご苦労と楽しみの詰まった作品が展示されました。

和室展示コーナー



和室では、台原中学校生徒・金沢小学校児童・金沢児童クラブ・まゆみの里保育園児、はなやま認定こども園児、そして学区内の高齢者福祉施設の方々から多数の作品が展示されました。

野菜・花苗販売コーナー



新鮮な野菜の販売

サクラソウの苗を配布

グラウンドゴルフ大会

今年のグラウンドゴルフ大会は、11月21日(日)に金沢学区体育振興会との共催により77名の参加のもとで行われました。朝8時までにはコースの設定を完了しました。8時半過ぎには開会式が行われ、コミュニティ推進会の高村事務局長、谷川副会長の

挨拶の後、体育振興会の桃谷敏生さんのルール説明があり、競技に入りました。老いも若きも一緒になって日ごろ鍛えた愛用のクラブを思う存分振り回し、時には優しくなでるようにゴールに向けて振っていました。
(Dx・レクリエーション部)



戦いが終わって お疲れ様でした



熱戦! 慎重に!!

スターウォッチング

今年こそ、晴れて惑星や星雲が望遠鏡で見られることを期待していたスターウォッチングが11月21日(日)に開催されました。しかし、前日まで快晴の天气が当日に限って曇りとなり、残念ながら星座の観測はできませんでした。

来年こそは、晴れる日を期待してまた計画してほしいとの声が多くありました。
(青少年育成部)

しかしながら、シビックセンターのプラネタリウムで説明している檜村さんのパソコンを使った説明や、秋の星座の見つけ方などをお話していただきました。また、宇宙に関する質問にもわかりやすく答えていただきました。



講義: 星座の見つけ方

かねさわ元気っ子 工作名人「竹とんぼ教室」

11月28日(日) 10:00から竹とんぼ教室が開かれ15名の子供達が参加しました。竹とんぼは、竹をプロペラのように、ローソクを使って微妙に曲げながら、バランスを取って作ります。思ったより、きちんと羽根の角度と重さが重要です。先生にアドバイスをいただきながら、自分なりに考えて羽根のかどを丸くしてバランスを取りました。右利きの人と左利きの人では羽根の曲げ方が違います。羽根の角度は小さいと前に進む竹とんぼになり、角度が大きいと高く舞い上がります。作り方を覚えたので、自分でも作れそうです。

多目的ホールで竹とんぼを作った後、グラウンドに出て竹とんぼの競技を行いました。風が吹くと思うように飛びませんでした、楽しい時間を過ごしました。

最後に、おみやげをもらい、帰宅しました。
(青少年育成部)



しっかり、ていねいに制作します



さあ、飛ばすぞ!

ふれあいボウリング大会

5年ぶりのふれあいボウリング大会は、最年長86歳の方を含め、30名の参加があり、小学生の始球式でゲーム開始となりました。

1レーン3名で、2ゲームマッチで行いました。久しぶりにボウリングをやる方もいらっしゃいましたが、和気あいあいと約1時間のゲームを楽しみました。ストライクやスパアをとった時には、レーンを越えて歓声があがり、ガーターやスプリットのときには…(無言)があり、それぞれの場面で楽しむことができましたようです。ゲーム終了後、記念撮影そして賞品授与式を行いました。賞品もある程度用意しましたが、残念ながら参加賞だけだった方は、次回の奮起

に期待してください。コロナ禍の中での開催でしたが、マスクの着用・検温・手指消毒の感染予防のご協力ありがとうございました。

(Dx・レクリエーション部)



花いっぱい運動

ふるさと創生塾は、齋藤副会長を中心に「人生百年生き抜こう」を合言葉に定期的に生涯学習講座を開設しています。この講座の他に「花いっぱい運動」と称して金沢交流センターの周りの花壇の草花を愛情をこめて育てています。

学区内の広報紙を飾っている花壇は本活動の成果です。活動は月に2回実施しており、14～15名のメンバーが集まります。作業当日は、朝8時30分に全員農作業の服装で集合、ラジオ体操、飯村部長の朝礼ミーティングで挨拶の後、作業内容を確認して作業を開始します。一連の作業が終了するのは10時ごろで、ティータイムを楽しんで解散となります。

11月13日(土)・14日(日)に実施された文化祭で配られたサクラソウは「花いっぱい運動」のメンバーが育てた苗を、お配りしています。早春のサクラソウは2月ごろにピンク色の花が花壇一面に咲き誇

ります。サクラソウを金沢学区の花として普及するように地道に活動しています。(ふるさと創生塾)



地域福祉局から

4月に、「あんしん安全ネットワーク」・「ボランティアふれあい活動部」・「ふれあい健康づくり部」を基盤組織として、地域福祉局を立ち上げ10カ月が過ぎました。

日立市内でも有数の高齢化率の高い本学区は、「フェイス トゥ フェイス」のコミュニティ推進の取り組みが不可欠です。

11月26日(金)に、地域福祉局主催の研修会を開催しました。この研修会では、心身と生活に好ましい変化をもたらすには、シナプソロジー(左右同時に異なる動きをすることで、脳の活性化を図る手法)とミュージック・ケア(音楽により、心身に快い刺激を与え、対人関係の質を向上させるとともに情緒の安定を図り、運動感覚や知的機能の改善を促す手

法)を積極的に導入していく必要があると、講師の方々から示唆されました。

この2つの手法を用いている地域福祉局の取り組みは「地域福祉局だより」として、これからも毎月発行していきます。さらに一層のPRを考え、12月号からカラー版としました。ホームページでも掲載していますので、ご覧ください。



令和3年度日立市社会福祉協議会会長顕彰者 金沢団地支部 田中 充弘 様

日立市社会福祉協議会より、田中充弘様が社会福祉協議会会長顕彰を受けました。

田中様は、一人暮らしの方々の近隣協力者として、長きにわたり見守り活動を推進してきました。また、金沢小学校の近くで書店を営み、子供たちの見守りも努めてきました。こうした地域福祉の向上に貢献してきた功績により表彰されました。



水野地域福祉局長から賞状の伝達

随筆

失われた世界 - ギアナ高地

以前、NHKの番組で「ギアナ高地」のアウヤンテパイを取り上げた『エンジェルホールを上から見よう』という番組がありました。

「世界中から年に90人入山するかどうか。日本人はNHKの取材班に次いで2番目です。」とガイドに言われました。

登山口へ行くのも大変ですが、ここからワニの生息する沼地をジャブジャブ歩き、タランチュラの生息するジャングルを進み、さらに岩山をよじ登りの繰り返し、頂上に到着。テントや岩棚の下でお月様を見ながらキャンプするという山旅です。ギアナ高地は他とは隔絶されていて、動植物は独特の進化をしています。食虫植物が多く、蛙も黄色の斑点のあるものや真っ黒のもの、頂上の小さな水溜まりにもオタマジャクシ

が沢山います。毎日地響きをたてる雷と大雨が降りますが、タンニンの含まれた紅茶色の水がエンジェルホールなど沢山の滝となって流れ落ちています。動植物の進化が止まっている世界を感じます。

(瀬ヶ沼 きよみ)



登頂前に岩の下でキャンプ



岩登りスタート!

短歌

かねさわ 文芸

・ 遠花火笛や太鼓の祭りなく

令和三年コロナ禍の夏

※子どもみこしの「ワッショイ」も聞かれず、淋しい夏でした。次の夏には、希望の光を創り明るい年に。

・ 人々の集まり阻むコロナ禍の

自粛ゆるみて春を迎える

※コロナ禍をいい経験にして「今を大事に」「健康」で過ごせたらと思います。

金沢団地支部 湯佐けい子

俳句

・ 目隠しでもう笑いだす福笑ひ

※まだゲームが始まっていないのに、おかしくなり笑ってしまった。

台原団地支部 竹田都

・ ヘリコプターぽこぽこ高きお正月

※ヘリコプターの音がお正月を祝っているように聞こえてきます。

根道ヶ丘団地支部 古川ヨシエ

・ 初風を受けて障子に松踊る

※初風を受けて松の影が障子に映り、踊っているように見え、良い年でありませう祈ります。

根道ヶ丘団地支部 跡部ふみえ